

教育、民生常任委員会記録

招集年月日	平成29年9月28日(木)
招集の場所	監査委員室
開会	午前9時24分
出席者	委員長 福田 淑子 副委員長 吉田 二郎 委員 柳田 政喜 委員 大橋 昭太郎 委員 橋本 四郎 委員 佐野 善弘 委員 平吹 俊雄
欠席者	なし
職務のため出席した者の職氏名	事務局次長兼議事調査係長 高橋 美樹
協議事項	・議会報告会の資料について
その他	なし
閉会	午前11時12分

2号様式 協議の経過

	開会 午前9時24分
福田委員長	<p>皆さん、おはようございます。</p> <p>決算議会も終わりました、皆様のご協力に大変感謝を申し上げます。</p> <p>また、打ち上げには、橋本委員は都合が悪くて出席できませんでしたけれど、楽しく盛り上がり、かなり遅い時間まで行われたということは、常任委員会のやわらかさかなと思いました。ありがとうございました。</p> <p>ただいまより、第20回教育、民生常任委員会を行います。</p> <p>委員は全員出席ですので、委員会は成立をいたしております。</p> <p>今日の会議事項ですけれども、議会報告会の資料ということで、皆さんには平成28年の議会報告会の資料、それから29年のを、たたき台として作ってきましたので、お目通しをいただいて、それから皆さんで審議していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、暫時、休憩いたします。</p>
	<p>休憩 午前 9時25分</p> <p>再開 午前11時04分</p>
福田委員長	<p>再開いたします。</p> <p>委員6名出席ですので、委員会は成立をいたしております。</p> <p>それでは、議会報告会の、教育、民生常任委員会の研究テーマ、ごみの減量化についての報告を取りまとめましたので、読み上げて提案させていただきます。</p> <p>1、目的、ごみの減量・分別・資源化に向けての取り組みについては、平成28年度の研究テーマとし調査・研究してきました。その中で、本町の実態が明らかになり、平成29年度も引き続きさらなる調査・研究をすることとしました。</p> <p>2、美里町の現況について、平成29年3月28日現在の「一般廃棄物処理事業実態調査結果総括表」によりますと、平成27年度のごみ総排出量は9,435トンで、前年度比188トンの増、1人1日当たりの排出量は1,022グラムで(内、生活系は776グラム)前年度比19グラムの増となっています。その結果、県内35自治体中における1人1日当たりの排出量は第29位、リサイクル率は10.6%となり第34位となっています。</p> <p>3、常任委員会のこれまでの取り組み経過について、平成28年度は、先進地である北海道本別町(リサイクル率66.2%)と岩見沢市(リサイクル率56.3%)におもむき調査しました。まとめは次のとおりです。</p> <p>リデュース(ごみ排出抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再生利用)の3R運動を基本に据えて、さらなる分別の細分化および町民へのごみ問題に対する啓蒙活動などの取り組みが必要である。</p> <p>町民のごみに対する減量化への啓蒙となる事から、集団資源回収事業に対する助成金の支給は検討が必要である。</p>

子ども達の環境教育として、教育委員会と連携し「社会科副読本」を作成するなどの啓蒙活動は必要である。

平成 29 年度は、本町の総排出量は増加、およびリサイクル率は低下しているという実態から、さらなる調査・研究をしました。本町は、平成 29 年度、駅東地域をぞつがみ収集のモデル地区として取り組んでいます。ごみの減量化に向けた全町での取り組みは急務であると考え、総排出量への取り組みが人口 10 万人以上 50 万人未満で全国第 1 位の東京都小金井市とリサイクルの取り組みが全国第 3 位の神奈川県鎌倉市におもむき調査しました。

委員から出された意見は次のとおりです。

ごみ減量化に向けた取り組みについては対策課を設け、人的配置など取り組みに対する意気込みが強く感じられた。

事業系ごみに対し、減量化に向けた取り組み計画書提出と訪問指導は本町においても実施すべきである。

枝木、雑草等の処理は、堆肥としてリサイクル化を図っている。

家庭で不要になったものの写真を庁舎の窓口に設けたコーナーに掲示し、必要な方に譲り渡す取り組みをしている。本町においてもすぐに行えることである。

ごみの分別、リサイクルを指導する委員の育成に力を入れていることは、素晴らしい取り組みである。

家の前まで収集車が来るという戸別収集をしていることから、間違った出し方がなくなり、ごみも減っていることは、素晴らしい取り組みであるという意見が出されました。

また、県内においてはごみ排出量とリサイクル率ともに上位に位置している、登米市にもおもむき調査しました。

登米市での取り組みは、3 R に、リフュ - ズ(発生抑制)をプラスして、4 R 運動に取り組んでいます。その内容は、雑草の堆肥化、ごみ収集カレンダーへの分別の書き込み、生ごみ処理機への助成、資源ごみ収集に対する活動報奨金の支給などを行っており、本町においても取り組みについて検討する必要があるという意見をまとめました。

以上、これまでの取り組みと経過を報告しましたが、ごみ減量化に向け、皆さんと情報を共有化し、まず町民ができること、町がしなければならないことを、一緒に考え、より美しい環境を次世代に残すために、みなさんのご意見をいただき参考にし、常任委員会としてのまとめを今年の 12 月に町に提言してまいります。

以上でございます。

ごみの減量化についての、議会報告会への報告はこれでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

これで、異議なしと認めます。

	<p>それでは、これで議会報告会への報告書の審議は終わりました。他にありませんでしょうか。</p> <p>なお、12月に向けて、議会報告会が終わり次第、まとめをしていきたいと思えます。日程につきましては、後日、調整をさせていただきます。</p> <p>以上で、教育、民生常任委員会の委員会を終わります。</p> <p>副委員長、あいさつをお願いします</p>
吉田副委員長	<p>以上をもちまして、本日の会議を終わらせていただきます。</p> <p>大変ご苦労様ございました。</p>
	<p>閉会 午前 11時12分</p>

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成29年9月28日

教育、民生常任委員会

委員長
